

社会資本総合整備計画

JR芦原温泉駅周辺地区都市再生整備計画

令和6年1月

福井県あわら市

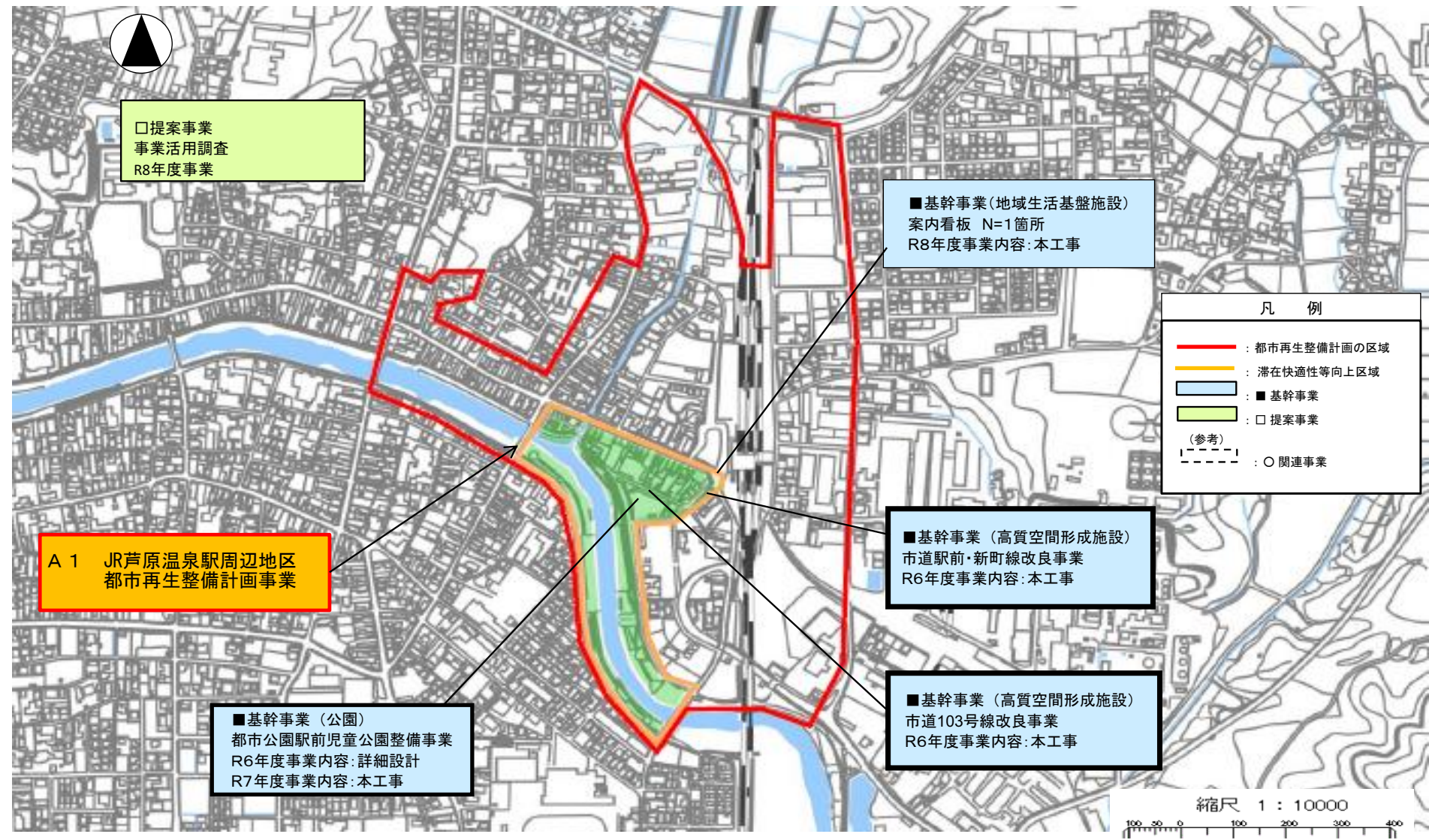
社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

令和6年1月

計画の名称	JR芦原温泉駅周辺地区都市再生整備計画										重点配分対象の該当		○																																			
計画の期間	令和6年度 ～ 令和8年度（3年間）					交付対象	あわら市																																									
計画の目標	大目標： 芦原温泉駅から竹田川までをまち歩き空間として整備し、地域の一体的な賑わいづくりの実現 目標1：歩行者が安心して楽しく歩くことができる歩行者空間の創出 目標2：多くの市民が利用できる交流空間の創出 目標3：官民連携による魅力ある周遊空間の創出																																															
計画の成果目標（定量的指標）	・歩行者交通量（午前9時から午後5時まで）を14人/8時間（休日）（R5）から30人/8時間（休日）（R8）に増加させる ・まちなかウォークアブル事業を利用した駅周辺整備に関する市民の満足度を47.9%（R4）から60%（R8）に増加させる ・滞在快適生等向上区域内で開催されるイベント回数を0回/年（休日）（R4）から5回/年（休日）（R8）に増加させる																																															
定量的指標の定義及び算定式	<table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</td><td colspan="2">備考</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>当初現況値 (R4当初)</td><td>中間目標値</td><td>最終目標値 (R8末)</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2">歩行者交通量 定義：滞在快適生等向上区域内での歩行者数 算定方法：R5年度の休日の歩行者数に対し、事業効果による増加（約2割）を見込む</td><td>14人/8時間 (休日)</td><td></td><td>30人/8時間 (休日)</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2">市民の満足度 定義：北陸新幹線芦原温泉駅開業に伴い駅周辺のまちづくりについて、にぎわい・快適性はあるか？（アンケート） 算定方法：R4年度にアンケート調査した満足度に対し、事業効果による増加（約2割）を見込む</td><td>47.9%</td><td></td><td>60.0%</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2">イベント回数 定義：駅前児童公園及び竹田川河川公園でのイベント回数 算定方法：年間のイベント等の実施回数</td><td>0回/年（休日）</td><td></td><td>5回/年（休日）</td><td colspan="2"></td></tr></table>															定量的指標の現況値及び目標値			備考				当初現況値 (R4当初)	中間目標値	最終目標値 (R8末)			歩行者交通量 定義：滞在快適生等向上区域内での歩行者数 算定方法：R5年度の休日の歩行者数に対し、事業効果による増加（約2割）を見込む		14人/8時間 (休日)		30人/8時間 (休日)			市民の満足度 定義：北陸新幹線芦原温泉駅開業に伴い駅周辺のまちづくりについて、にぎわい・快適性はあるか？（アンケート） 算定方法：R4年度にアンケート調査した満足度に対し、事業効果による増加（約2割）を見込む		47.9%		60.0%			イベント回数 定義：駅前児童公園及び竹田川河川公園でのイベント回数 算定方法：年間のイベント等の実施回数		0回/年（休日）		5回/年（休日）		
		定量的指標の現況値及び目標値			備考																																											
		当初現況値 (R4当初)	中間目標値	最終目標値 (R8末)																																												
歩行者交通量 定義：滞在快適生等向上区域内での歩行者数 算定方法：R5年度の休日の歩行者数に対し、事業効果による増加（約2割）を見込む		14人/8時間 (休日)		30人/8時間 (休日)																																												
市民の満足度 定義：北陸新幹線芦原温泉駅開業に伴い駅周辺のまちづくりについて、にぎわい・快適性はあるか？（アンケート） 算定方法：R4年度にアンケート調査した満足度に対し、事業効果による増加（約2割）を見込む		47.9%		60.0%																																												
イベント回数 定義：駅前児童公園及び竹田川河川公園でのイベント回数 算定方法：年間のイベント等の実施回数		0回/年（休日）		5回/年（休日）																																												
全体事業費	合計 (A+B+C+D)		149	A	149	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	0.0%																																			
交付対象事業																																																
A 基幹事業																																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																															
A-1	都市再生	一般	あわら市	直接	あわら市	JR芦原温泉駅周辺地区都市再生整備計画事業	約3.8ha	あわら市	R5	R6	R7	R8	R9	149.0	—	—																																
合計																																																
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																															
									R5	R6	R7	R8	R9																																			
合計																																																
C 効果促進事業（該当なし）																																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																																	
									R5	R6	R7	R8	R9																																			
合計																																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考																																		
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																																	
									R5	R6	R7	R8	R9																																			
合計																																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考																																		

(参考図面)

計画の名称	JR芦原温泉駅周辺地区都市再生整備計画		
計画の期間	令和6年度 ～ 令和8年度 (3年間)	交付対象	あわら市



都市再生整備計画

あわらおんせんえきしゅうへんちく
JR芦原温泉駅周辺地区

ふくい
福井県 あわらし
市

令和6年1月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☐
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	☐
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	☐
まちなかウォーカブル推進事業	☒

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	福井県	市町村名	あわら市	地区名	あわらおんせんえきしゅうへん ちく JR芦原温泉駅周辺地区	面積	30.3	ha
計画期間	令和6年度	～	令和8年度	交付期間	令和6年度	～	令和8年度	

目標
大目標： 芦原温泉駅から竹田川までをまち歩き空間として整備し、地域の一体的な賑わいづくりの実現
目標1：歩行者が安心して楽しく歩くことができる歩行者空間の創出
目標2：多くの市民が利用できる交流空間の創出
目標3：官民連携による魅力ある周遊空間の創出

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 あわら市は福井県の最北端に位置し、平成16年3月に芦原温泉を有する芦原町とJR芦原温泉駅がある金津町の2町合併により誕生した。 本地区の中心に位置する芦原温泉駅が、平成17年度から整備新幹線建設推進高度化等事業による駅部調査の対象となったことを受け、駅周辺整備基本計画に基づき事業を着手している。事業化にあたっては、全体の事業費が多額になることや事業期間が長期に渡ること、また、当駅が在来線の駅に併設されることなどを考慮し、平成19年度から平成30年度までの12年間に渡り、「JR芦原温泉駅周辺地区(1期)」、「JR芦原温泉駅周辺地区(2期)」及び「JR芦原温泉駅周辺地区(3期)」の都市再生整備計画を策定し、金津本陣にぎわい広場や駅東口駐車場等の整備を行った。 さらに、平成28年度には駅周辺まちづくりの将来像(将来デザイン)を市民投票により決定し、将来デザインに込められた理念を踏まえ、駅周辺の機能や仕組みを定める「芦原温泉駅周辺まちづくりプラン」を平成30年7月に策定した。このプランに基づき、交通結節点、魅力情報発信のさらなる機能強化や駅周辺を中心とした賑わい創出を図るため、北陸新幹線現駅併設に対応した整備を行っている。 そのような中、令和4年度にJR芦原温泉駅前周辺整備 西口賑わい施設(愛称:アフレア)がオープンした。この施設は、福井県の北の玄関口にふさわしい賑わい交流拠点として広くアピールし、あわら市、坂井市をはじめとした福井県の魅力をしっかりと発信する拠点として期待されている。よって、開業後、地域の一体的な賑わいづくりをしていくために、芦原温泉駅に下車した人が、駅前周辺を経由し竹田川まで歩いて行きたくなるような仕掛けが求められている。 そこで、地域住民や関係団体と十分な意見交換をしながら、周遊したくなる空間を創出するための整備や地域イベントと連携した取り組みを進めていくことで、楽しんで歩くことができる空間の創出を図っていきたい。
課題 ① 駅周辺部では、空き店舗が増え活力が低下していることや、街なかへ観光する場所も少ないことから、駅から街なかへの人の移動が見られない。よって、ウォーカブル推進事業によって、街の魅力を向上し、地域を活性化したい。 ②人口減少の加速化への対応などこれまでに経験したことのない危機等を乗り越える新たな取組が求められている。
将来ビジョン(中長期) ①第2次あわら市総合振興計画(平成28年3月策定) ○まちづくりの基本理念：暮らしやすく 幸せを実感できるまち ○幸せを実現するための6つのプラン：①新幹線を迎える、②まちを輝かせる、③人をはぐくむ、④安らぎを守る、⑤力をみなぎらせる、⑥夢をつなぐ ○基本政策の一つに「北陸新幹線に向けたまちづくり」を掲げ、北陸新幹線の整備促進、芦原温泉駅周辺の整備、並行在来線への対応を重点的に取り組むと位置付けている。 ②あわら市都市計画マスタープラン(平成29年3月策定) ○都市の将来像：多彩な自然と温泉情緒が誘いぎなう生活感動都市 ○まちづくりの基本戦略の一つに「福井県の北の玄関口にふさわしいJR芦原温泉駅周辺のまちづくり」を掲げ、特色ある美しい景観形成と新たな機能の導入により、活力と魅力あふれる空間を創出すると位置付けている。 ③あわら市立地適正化計画(平成29年3月策定) ○都市の将来像：都市計画マスタープランと同様 ○本地区(広域交流拠点)の誘導方針 ・都市機能：関連計画やプロジェクトとの整合、拠点中心部へのアクセス性や回遊性、都市機能の集積状況を勘案して、高齢化社会に対応した市街地環境を整備するため、必要な都市機能を維持・誘導する。 ・居 住：用途地域内への誘導を基本とし、新規や住み替えの促進、路線バス、デマンド交通の維持・拡充、空き家の有効活用等を図る。

一体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォーカブル推進事業の計画
滞在快適性等向上区域の考え方 竹田川河川区域からJR芦原温泉駅までを滞在快適性等向上区域に設定する。具体的に、都市公園(駅前児童公園)を全面リニューアルし、駅から公園を経由し竹田川河川区域を周遊できる空間づくりする。これにより、多くの人が交流する拠点を形成し、駅周辺のさらなる賑わい創出を図る。 滞在快適性等向上区域での取組 JR芦原温泉駅と都市公園(駅前児童公園)までの道路を美装化することで、歩行者が安心して楽しく歩くことができる歩行者空間の創出する。 また、都市公園にトイレや日陰たなを新設整備することで、誰もが利用しやすい場所になり、多くの人が集う空間を創出する。 さらに、竹田川河川区域一帯は、令和3年に河川管理者である福井県から河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域の指定を受け、民間事業者でもイベントやオープンカフェ、キャンプ場などの営利活動を常時行うことが可能となった。竹田川河川区域内にある竹田川河川公園の指定管理者である「金津まちなか創成会」が中心となって、カヤック体験などのイベントを実施し、市民・観光客双方が滞留できる場の創出が図られる予定である。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
歩行者交通量(午前9時から午後5時まで)	人／8時間	滞在快適性等向上区域内での歩行者数	官民一体となった賑わいある歩行者空間の創出	14人/8時間(休日)	R5年度	30人/8時間(休日)	R8年度
まちなかウォーカブル事業を利用した駅周辺整備に関する市民の満足度	%	北陸新幹線芦原温泉駅開業に伴い駅周辺のまちづくりについて、にぎわい・快適性はあるか？(アンケート)	回遊性の向上、魅力ある滞留空間・交流拠点の創出によって市民の満足度が増加する。	47.9%	R4年度	60.0%	R8年度
滞在快適性等向上区域内で開催されるイベント回数の増加	回/年	駅前児童公園及び竹田川河川公園でのイベント回数	多くの市民が利用する交流空間でのイベントが増加されることで、JR芦原温泉駅周辺地区の賑わいが創出される。	0回/年(休日)	R4年度	5回/年(休日)	R8年度

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【居心地が良く歩きたくなる空間づくり】 ・歩行者の利便性・まちの回遊性の向上 ・都市公園も含めたエリアの一体的な快適生の創出		【基幹事業】（高質空間形成施設）市道103号線改良事業 【基幹事業】（公園）都市公園（仮称）駅前児童公園整備事業
その他		
【竹田川周遊整備構想(素案)の概要】 ◆目的: JR芦原温泉駅周辺地区において、竹田川や都市公園、市道の既存資源を活かし、地域住民をはじめ市民や来訪者まで、誰もが、日常的に集い、周遊したくなる魅力的な拠点（公園）と周遊軸（芦原温泉駅⇄竹田川）の整備をする。そのようにして、新たな街の魅力を創造することで、地域の活性化（賑わい）に繋げていくことが目的である。 ・現状、竹田川沿いがキャンプやカヌーなどのイベントを開催する場として活用されているが、竹田川に至るまでのアクセスや竹田川周辺の整備が出来ていないため、回遊したくなるような空間整備が必要である。 ・主要施策: JR芦原温泉駅から拠点と位置図ける都市公園を経由して、竹田川までの歩行者空間の形成及び周遊軸の創出 ・具体策: JR芦原温泉駅と都市公園を結ぶ市道103号線を美装化し、都市公園までのアプローチとする。また、都市公園を多世代が利用できる公園に整備し、竹田川まで周遊できる拠点とすることで、都市公園としての機能と魅力を増大させる。 【その他官民協働の取り組み事例】 特になし 【重点的に取り組むテーマ】※まちなかウォーカブル推進事業における計画策定支援事業を実施する場合に設定が必要 特になし		

様式(1)-④-4

(金額の単位は百万円)

（金額の単位は百万円）														
基幹事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間		交付期間内事業期間		（参考）全体事業費	交付期間内事業費	交付対象事業費		費用便益比B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
公園		都市公園（駅前児童公園）	あわら市	直	A=0.2ha	R6	R7	R6	R7	123	123	123		123
地域生活基盤施設		地区内全域（案内看板）	あわら市	直	N=1個	R8	R8	R8	R8	4	4	4		4
高質空間形成施設		市道103号線（カラー舗装）	あわら市	直	L=約100m	R6	R6	R6	R6	11	11	11		11
高質空間形成施設		市道駅前・新町線（カラー舗装）	あわら市	直	L=約50m	R6	R6	R6	R6	9	9	9		9
合計										147	147	147	0	147
…A														
提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間		交付期間内事業期間		（参考）全体事業費	交付期間内事業費	交付対象事業費		費用便益比B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
事業活用調査		事業効果分析調査	あわら市	直		R8	R8	R8	R8	2	2	2		2
合計										2	2	2	0	2
												合計(A+B)	149	…B

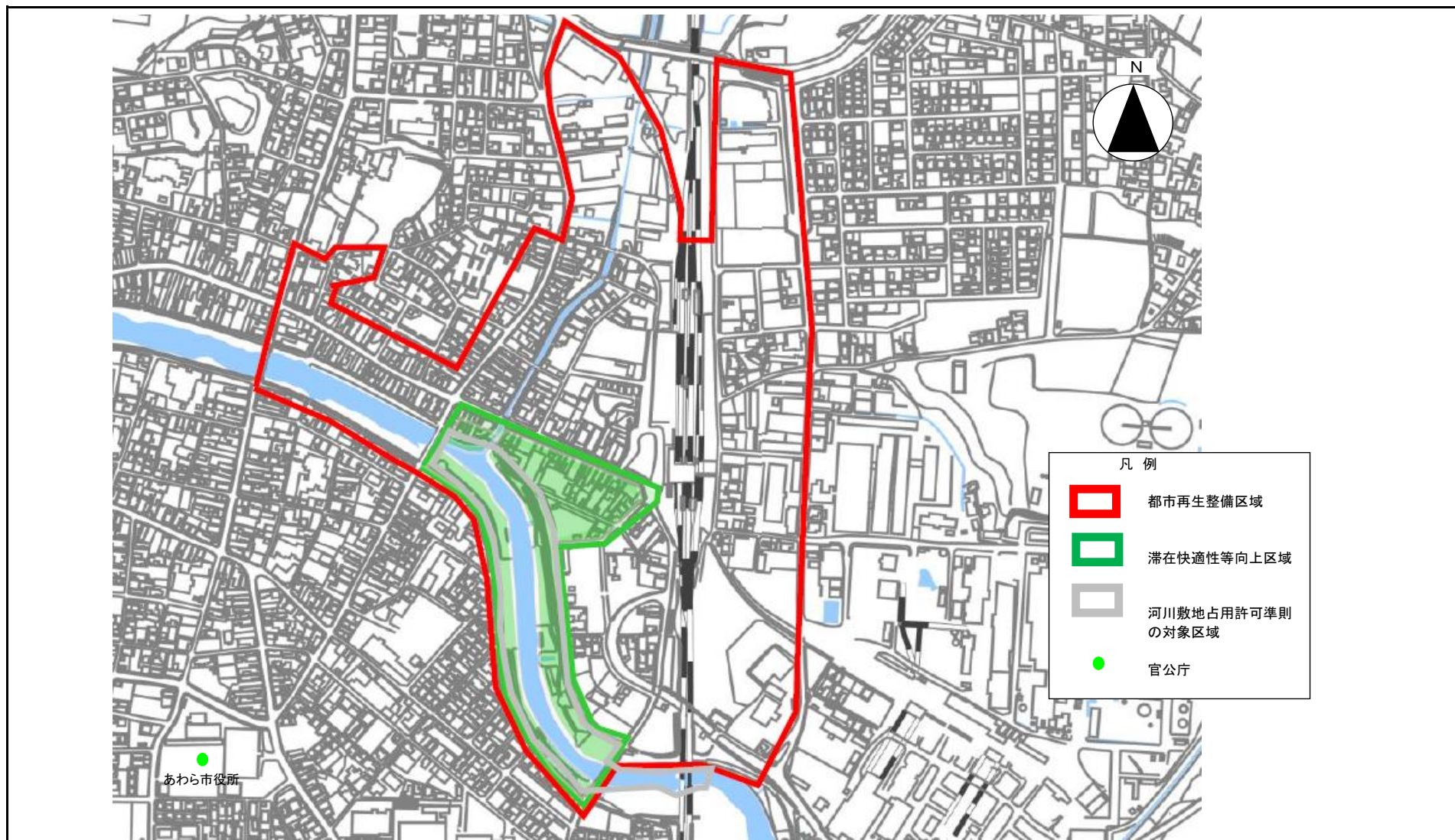
JR芦原温泉駅周辺地区(福井県あわら市)

面積

30.3(3.8) ha

区域

あわら市春宮1～2丁目の各一部、自由ヶ丘1～2丁目、市姫1～2丁目、南3～4丁目の一部



JR芦原温泉駅周辺地区(福井県あわら市) 整備方針概要図(まちなかウォーカブル推進事業)

目標	大目標：芦原温泉駅から竹田川までをまち歩き空間として整備し、地域の一体的な賑わいづくりの実現 目標1：歩行者が安心して楽しく歩くことができる歩行者空間の創出 目標2：多くの市民が利用できる交流空間の創出 目標3：官民連携による魅力ある周遊空間の創出	代表的な指標	歩行者交通量(午前9時から午後5時まで) (人/8時間)	14人/8時間(休日)	(R5年度) → 30人/8時間(休日)	(R8年度)
			まちなかウォーカブル事業を利用した駅周辺整備に関する市民の満足度 (%)	47.90%	(R4年度) → 60.0%	(R8年度)
			滞在快適性等向上区域内で開催されるイベント回数の増加 (回/年)	0回/年(休日)	(R4年度) → 5回/年(休日)	(R8年度)

